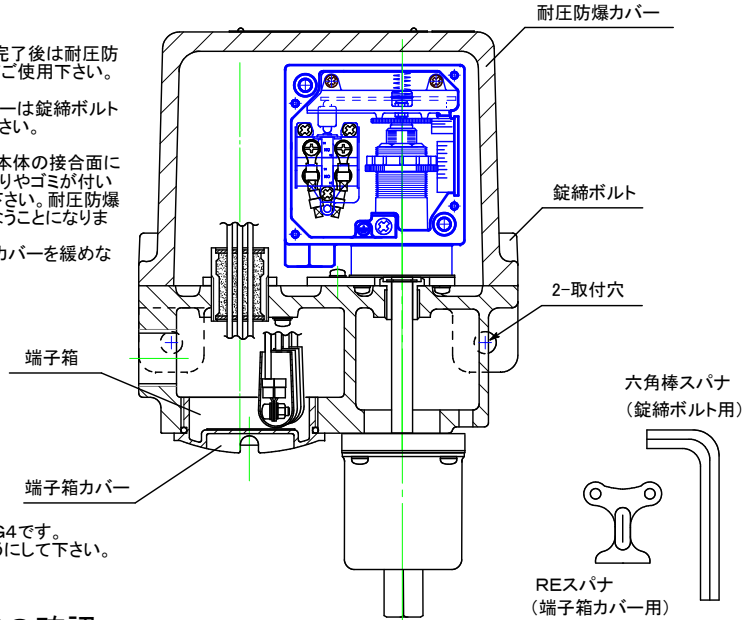


⚠ 圧力設定および配線完了後は耐圧防爆カバーを必ず閉じてご使用下さい。

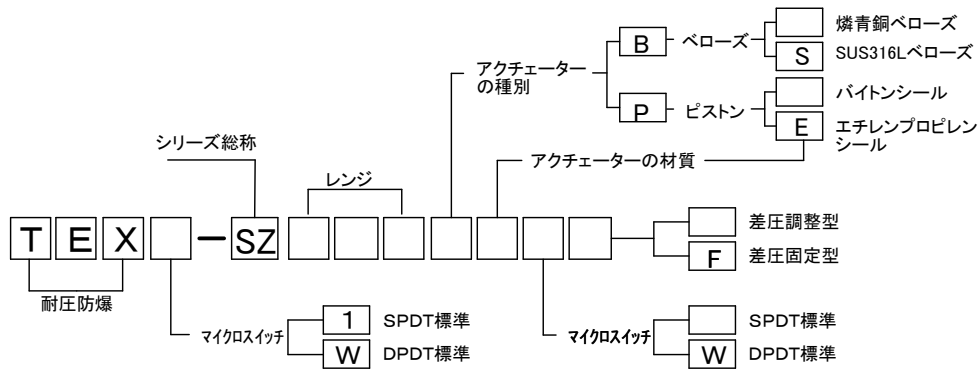
1. 耐圧耐圧防爆カバーは錠締ボルトでしっかり閉じて下さい。
2. 耐圧防爆カバーと本体の接合面に傷を付けたり、ほこりやゴミが付いたまま閉じないで下さい。耐圧防爆としての機能を損なうこととなります。
3. 電源ONの状態ではカバーを緩めないこと。



TEX型の爆発等級はd2G4です。
対象ガスを間違えないようにして下さい。

(1) 型式・仕様の確認

耐圧防爆型圧カスイッチの型式は下表に従って表示されています。型式および仕様を確認して下さい。



レンジ:

要求設定圧力がレンジの範囲に入っているかどうか確認して下さい。
レンジ調整範囲は、圧力下降時の動作圧力で表示しています。

差圧調整範囲:

要求設定圧力の上・下限の幅が差圧調整範囲内に入っているか、確認して下さい。

レンジ (RANGE) ・差圧調整範囲 (DIFF'L) ・耐圧力 (MAX.ALLOW.PRESSURE) は銘板に記載されています。

定格圧力:

ベローズ型においては、システム圧力 (常用圧力) が定格圧力を超えないようにご使用ください。特に要求設定値がレンジの下限または上限に接近している場合は、定格圧力を再確認して下さい。

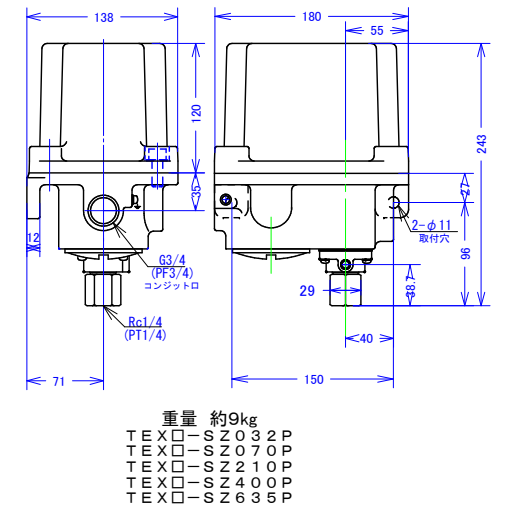
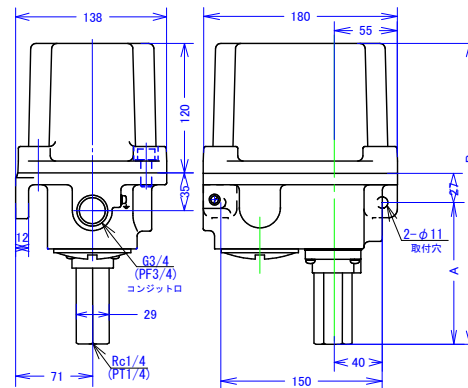
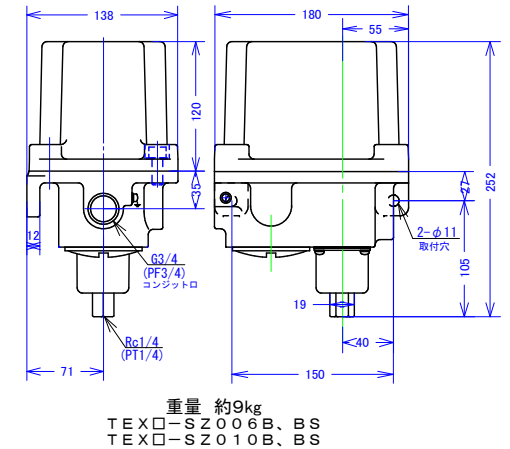
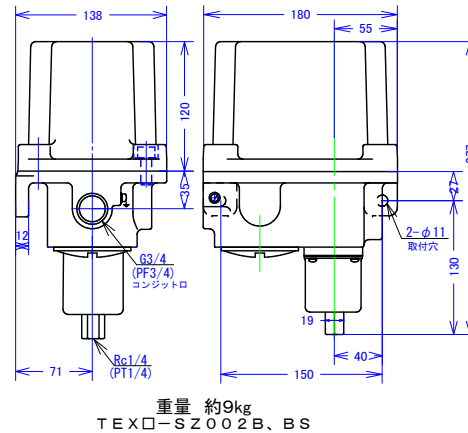
耐圧力:

耐圧力は性能の低下をすることなく一定時間印加できる試験圧力です。常時、あるいは頻繁に印加できる圧力ではありません。サージ圧力や、脈動のような瞬間的な圧力でも、耐圧力を超える圧力が瞬間的にも印加されるとベローズの寿命は著しく低下します。従って、特にベローズ型を油圧回路に使用する場合は、サージ圧や脈動対策を施し、十分耐圧力の高い型式を選定するようにご配慮ください。

(2) 取付 **⚠** 本体を2ヶ所の取付穴で固定して下さい。圧力配管のみで支持することはできません。

(3) 配管 **⚠** 圧力配管ポートはRc1/4 (PT1/4)です。配管をする場合は、受圧部の六角部にスパナ掛けをして、圧カスイッチの本体に力が加わらないようにして下さい。

(4) 配線 配線接続は端子箱の内部で処理して下さい。配線図は端子箱カバーに貼付けてあります。マイクロスイッチから端子箱までは配線されています。使用しない接点の端末にも付属の絶縁キャップをして、外れないようテーピングして下さい。



タイプ	A	B
TEX□-SZ025B	127	274
TEX□-SZ025BS	117	264
TEX□-SZ050B	157	304
TEX□-SZ050BS	136	283
TEX□-SZ115B	140	287
TEX□-SZ115BS	124	271



ドレン配管

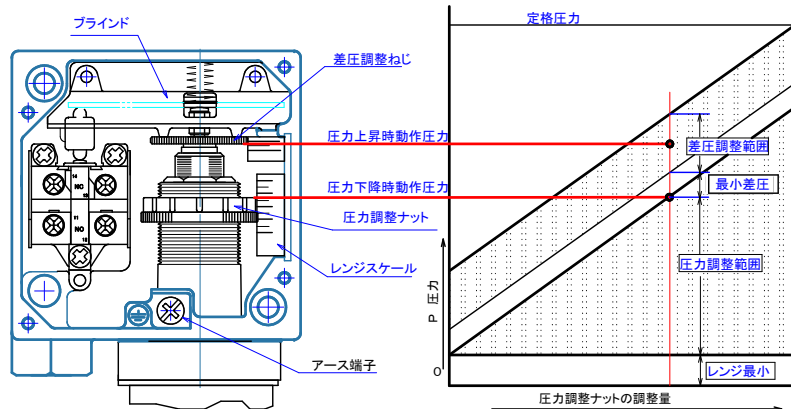
ピストンタイプはシールドピストン方式ですので通常ドレン配管は不要ですが、一定期間使用すると滲み出し程度の流体の浸出が発生する場合があります。微量の流体の浸出も許可されない環境においてはあらかじめドレン配管をして御使用下さい。ドレン配管はRc1/8 (PT1/8)、許容背圧は0.1MPa以下とし、できるだけ大気圧に開放して下さい。

(5) 設定

TEX型圧カススイッチはすべて一定圧力に設定されて出荷されています。その設定圧力は本体側面の設定ラベルに表示してあります。要求設定値と異なる場合は次のように再設定してください。

下限圧力は、圧力調整ナットで設定します。
SZ圧カススイッチの差圧(マイクロスイッチがON、OFFする圧力差)は圧力上昇側に得られ、差圧調整をしても、圧力調整ナットで設定した下限圧力は影響されません。

設定は電源を切って行って下さい。電源を接続して設定する場合は、危険ですので端子に絶対触れないようにして下さい。



- 1 要求設定値の下限(圧力下降時の復帰圧力)を圧力調整ナットで設定します。圧力調整ナットの上面のレンジスケールの指示する値が、下限動作圧力の目安です。

圧力調整ナットは、スロットにマイナスドライバーを差し込んで回します。スロットの幅に合ったマイナスドライバーを使用しないとスロットを壊すこととなりますので十分ご注意ください。

圧力調整ナットは、板バネでセルフロックされていますので、低圧設定においても緩みません。

- 2 要求設定値の上限(圧力上昇時の動作圧力)を差圧調整ねじで設定します。

差圧調整ねじは指で回します。板バネでロックされていますから緩むことはありません。差圧調整ねじは、過度に緩めて外れないようブラインドの爪がストッパーになっています。

無理に緩め過ぎないでください。

差圧を最小でご使用になる場合は、差圧調整ねじの上面がブラインドの爪に少し当たっている状態にセットしてご使用ください。

ブラインドは絶対に外さないでください。

- 3 差圧固定型(型式記号:F)

差圧固定型は、差圧調整できません。
上、下限動作値のどちらかを基準になる方を圧力調整ナットで設定します。

圧力調整ナット、差圧調整ねじ以外に触れたり、緩めたりしないで下さい。

(6) マイクロスイッチの電気定格

SPDT標準容量・密閉型

接点構成 SPDT	電圧 V	抵抗負荷		ランプ負荷		誘導負荷		電動機負荷	
		N.C.	N.O.	N.C.	N.O.	N.C.	N.O.	N.C.	N.O.
結線図1 黒 14 N.C. 13 N.C. 白 赤 11 N.O. 12 N.O. 緑 (黒・白)圧力上昇---開 (赤・緑)圧力上昇---閉	AC 125	10A	10A	3A	1.5A	10A	5A	2.5A	
	250	10	10	2	1	10	3	1.5	
	480	10	10	1.5	0.8	3	1.5	0.8	
DC 8	10A	6A	3A	10A	6A				
	14	10	6	3	10	6			
	30	6	4	3	6	4			
	125	0.8	0.2	0.2	0.8	0.2			
	250	0.4	0.1	0.1	0.4	0.1			

DPDT標準容量

接点構成 DPDT	電圧 V	抵抗負荷		ランプ負荷		誘導負荷		電動機負荷	
		N.C.	N.O.	N.C.	N.O.	N.C.	N.O.	N.C.	N.O.
結線図2 赤 11 N.O. 12 N.O. 白 黒 14 N.O. 13 N.O. 緑 (黒・白)圧力上昇---開 (赤・緑)圧力上昇---閉	AC 125	5A	2A	4A	3A				
	250	3	1	2	1.5				
	480	1.5	0.5	1	0.8				
	600	1	0.4	0.7	0.5				
結線図3 黒 14 N.C. 13 N.C. 白 赤 11 N.C. 12 N.C. 緑 (黒・白)圧力上昇---開 (赤・緑)圧力上昇---閉	DC 8	-	-	-	-				
	14	5A	2A	4A	3A				
	30	3.4	1	2	1.5				
	125	0.4	0.1	0.4	0.1				
	250	0.2	0.05	0.2	0.05				

①本表の数値は定格電流を示します。②誘導負荷:交流一力率0.4以上、直流一時間定数7ms以下③ランプ負荷:10倍の突入電流を有するものとします。
④電動機負荷:6倍の突入電流を有するものとします。

(7) 使用条件・その他の性能

使用周囲温度	-10~+40°C(ただし氷結しないこと。)
接液部許容温度	焼青銅ベローズ:-40~+125°C(ただし氷結しないこと。) SUS316Lステンレスベローズ:-40~+250°C(ただし氷結しないこと。) ピストンアクチュエーター:-20~+120°C(ただし氷結しないこと。) ただし、長時間の使用でスイッチメカニズムの温度が、使用周囲温度を超えないこと。
許容動作頻度	100回/分
絶縁抵抗	非連続端子間および各端子と非充電金属部間 100MΩ以上(DC500Vメガーにて)
耐電圧	非連続端子間 AC1000V 50/60Hz 1分間 各端子と非充電金属部間、アース間 AC2200V 50/60Hz 1分間
受圧部オリフィス	ベローズアクチュエーター:1.5φ ピストンアクチュエーター:1φ



部品を外したり、ねじをゆるめたりした機器の品質保証や不具合原因調査はできなくなることがありますのであらかじめご承知ください。

太平貿易株式会社

本社:〒103-0023東京都中央区日本橋本町2-2-2
TEL03-3270-4821 FAX03-3245-1767
名古屋支店:〒460-0008名古屋市中区栄4-15-32 日建・住生ビル
TEL052-261-5571 FAX052-261-2017
大阪支店:〒530-0037大阪市北区松ヶ枝町1-3 サンセンタービル
TEL06-6355-2701 FAX06-6355-2706
福山営業所:〒720-0067福山市西町2-10-1 福山商工会議所ビル
TEL084-925-3067 FAX084-931-9331
九州営業所:〒802-0005北九州市小倉北区堺町1-1-1 JTBB小倉ビル
TEL093-511-2802 FAX093-511-5904

製造 太平システム工業株式会社